

【小学校・中学校・義務教育学校用】

令和8年度学校評価 計画

達成度（評価）	
A	十分達成できている
B	おおむね達成できている
C	やや不十分である
D	不十分である

学校名	佐賀市立若楠小学校
1 前年度 評価結果の概要	<ul style="list-style-type: none"> 学校運営協議会において学校教育について評価をお願いしたところ、9項目において、「A十分達成できている」の評価をいただいた。これらは全職員で取り組んだ成果だと考える。更に質の高い学校教育を目指して、学力の向上、心の教育、特別支援教育の充実には継続して取り組み、運動習慣の改善、地域との連携については、学校運営協議会からの意見や助言等も参考にし、対策を講じながら十分達成を目指していく。 「学びのプラン」の活用を継続しながら資質・能力の育成を明確化し、「あなたも「聴き方やさしい話し方」を基盤とした子ども主体の授業や授業研究を推進していく。 ユニバーサルデザインを基盤にしたあたたかい集団づくりを行い、教師が児童一人一人のよさを認め、成長へとつながる生徒指導を目指す。
2 学校教育目標	「夢をもち、明るく笑顔で生き生きとチャレンジする児童の育成」 ～たくましく ゆたかに ひびけ われら若楠～
3 本年度の重点目標	<input type="radio"/> 自分で学びをつくる楽しさを実感できる児童の育成 <input type="radio"/> 自分で考え、自ら行動する児童の育成 <input type="radio"/> 児童が安心して学べる場の保障

4 重点取組内容・成果指標			中間評価		5 最終評価			主な担当者		
(1)共通評価項目			中間評価		最終評価		学校関係者評価			
評価項目	重点取組	成果指標(数値目標)	具体的取組	達成度(評価)	達成状況と見通し	達成度(評価)	実施結果		評価	意見や提言
●学力の向上	○全職員による共通理解と共通実践・授業力向上を目指す改善 ○児童が主体的に学ぶ授業の実践	○校内研究を通して授業力が向上した教師80%以上 ○「友達との対話的な学習を通して、自分の考えを深めたり広げたりするために「あたたかい聴き方やさしい話し方」ができている」と回答した児童80%以上 ○「学習に対して最後まで粘り強く取り組むことができた」と回答した児童80%以上	・各学年で授業公開を行い、研究会を通して授業力の見直しと改善を行う。 ・教員間の「聴き方・話し方」のステップ表を活用しながら児童同士が「つなげる」対話的な授業づくりに取り組む。 ・「学びのプラン」を活用し、自己の学びを振り返る場や調整する場を設定する。							知育部
	●心の教育	●児童生徒が、自他の生命を尊重する心、他者への思いやりや社会性、倫理観や正義感、感動する心など、豊かな心を身に付ける教育活動 ●いじめの早期発見、早期対応に向けた取組の充実 ●児童生徒が夢や目標を持ち、その実現に向けて意欲的に取り組もうとするための教育活動	○「クラスの仲間の誰かが失敗したり、困ったりしているときに、声を掛けたり助けたりすることができる」と回答する児童90%以上 ○「いじめ防止等について組織的対応ができている」と回答した職員90%以上 ○「学校が楽しい」と回答する児童90%以上 ●「先生はあなたのようなところを認めてくれていると思う」と回答した児童生徒90%以上 ●「将来の夢や目標を持っている」と回答した児童生徒90%以上 ●「先生はあなたのようなところを認めてくれていると思う」と回答した児童生徒90%以上	・子ども理解を基盤とした人的環境のユニバーサルデザインを基盤とした学級づくりを行う。 ・縦割り活動での異学年交流や学級・学校全体でのほかほか貯金の取組を行う。 ・いじめアンケートやほのほのアンケート、教育相談月間の取組を実施し、いじめの早期発見に努める。 ・職員会議でも連絡会で児童情報を共有し、共通理解のもとに組織で対応する。 ・年2回QUTテスト及び研修会を実施する。						
●健康・体づくり	①「運動習慣の改善や定着化」 ○歯科保健の充実	①授業以外で運動やスポーツを行う時間が1週間で420分以上の児童生徒80%以上 ○「1日3回以上歯みがきをしている」と回答する児童85%以上	・年2回以上スポーツフェスタを開催し、みんなで楽しく取り組める遊びを終極させる。 ・雨天時は体育館、簡易のときは目的教室を開放し、運動できる場を確保する。 ・給食後の歯みがきタイムを全校で実施する。 ・歯と口の健康に関する保健だよりや掲示物を作成し、児童と保護者が歯科保健の意識を増やす手立てを行う。							体育部 体育部
	●業務改善・教職員の働き方改革の推進	●業務効率化の推進と時間外在職等時間の削減 ●教育委員会規則に掲げる時間外在職等時間の上限を遵守する。 ●年間20日の年次休暇のうち、職員1人当たりの年次休暇の取得日数14日以上	・定時退勤日を毎週金曜日に設定し、徹底する。職員定数前等の掲示物で定時退勤を自覚し、終わりを意識した仕事をする。 ・限られた時間でいい仕事をするという働き方に対する教員の意識の向上を図る。 ・行事や会議の精選、効率化、時間短縮を行う。							教務部
●特別支援教育の充実	○（学校独自重点取組・任意）特別支援教育に関する教員の専門性と意欲の向上	○（学校独自成果指標・任意）「支援を要する児童のニーズに応じた取り組みを行った」と回答した教員90%以上	・特別支援に関する研修会の実施 ・年5回の子ども支援会議とケース会議の開催、関係者間で情報共有を図る。							心育部
(2)本年度重点的に取り組む独自評価項目										
	○郷土を愛する心情的育成	○「地域の一員としての自覚と郷土を愛する心情的を育む活動の充実」 ○「若楠小や若楠の地域が好きですか」に肯定的に回答する児童90%以上	・各学年の年間指導計画の中に、地域の「ひと・もの・こと」を生かし、児童が主体的に地域と関わることができる行事や単元を位置づける。 ・地域団体等と連携し、地域を素材とした学習にスムーズに取り組むことのできる環境を整える。							教務部

●…県共通 ○…学校独自 ◎…志と誇りを高める教育

5 総合評価・次年度への展望	・ ・ ・
----------------	-------------